

Profile

須川 展也

Nobuya Sugawa

日本が世界に誇るサクソフォン奏者。東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクールで最高位受賞。出光音楽賞、村松賞を受賞。国内外の有名オーケストラと多数共演し、世界的な評価を得る。NHK連続テレビ小説「さくら」テーマを演奏、ラジオ・テレビへの出演も多い。異なるジャンルとのコラボにも積極的でジャズ・ベースのロン・カーターやギターのマーティン・テイラーと共演。これまで海外25ヶ国以上でリサイタルやマスタークラスを行い、最近では2017年5月に南北アメリカ大陸縦断ツアーを敢行。各地で熱狂的な支持を集め「伝説的奏者」「サクソフォン・ヒーロー」等の評価を集めた。須川によって委嘱&初演された多くの作品は、20-21世紀のクラシカル・サクソフォンの新たなレパートリーとして国際的に広まっている。最近では坂本龍一「FANTASIA」、チック・コリア「FLORIDA to TOKYO」、ファジル・サイ「組曲」などがある。トルヴェール・クワルテットメンバー、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者、東京藝術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授 他。

奥村 愛

Ai Okumura

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。第68回日本音楽コンクール ヴァイオリン部門第2位受賞他、賞歴多数。国内の主要オーケストラのみならず、海外オーケストラとの共演も多い。親しみやすいプログラミングと自然体なトークによるリサイタルは各地で大好評を得ている。一児の母としての経験を生かし、自らのプロデュースによる親子向け公演を数多く手掛ける。テレビ・ラジオ等への出演も多く、多彩な活躍で注目されている。2017年にデビュー 15周年を迎え浜離宮朝日ホールはじめ各地で記念公演開催。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

小柳 美奈子

Minako Koyanagi

東京藝術大学卒業。伴奏のイメージを変えてしまうアンサンブル・ピアニスト。様々なプレイヤーの呼吸の機微を読み取り、それに寄り添うしなやかな感性を数多くのリサイタル、レコーディングで発揮。須川展也氏に献呈された多くのデュオ作品(吉松隆氏、西村朗氏、長生淳氏等)のほぼ全ての初演を手がけている。中でも2003年に発売された須川氏の3枚組アルバム「Exhibition of Saxophone」は秀逸の演奏。欧州やアジア諸国での演奏も多く、いずれのステージでも多くの注目を集め、高い評価を得ている。トルヴェール・クワルテットの共演者としてのキャリアも長く数多くの録音に参加。トリオ「YaS-375」のメンバー。

目黒ユネスココンサート2018

～次世代への平和と文化のメッセージ～

Special Trio

須川 展也
×
奥村 愛
×
小柳 美奈子

2018年5月27日(日)

開場 13:30 開演 14:00

めぐろパーシモンホール 大ホール

主催：NPO法人目黒ユネスコ協会／共催：(公財)目黒区芸術文化振興財団
後援：目黒区／目黒区教育委員会／目黒区小・中学校PTA連合会
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟／東京都ユネスコ連絡協議会

NPO法人
目黒ユネスコ協会

〒153-0053 目黒区五本木2-24-3

TEL : 03-5725-6150 (月～金13:00～16:00)
FAX : 03-5725-6160

Email : meguro@unesco.or.jp
URL : www.unesco.or.jp/meguro/

第48回
目黒ユネスコ コンサート



201805

Meguro UNESCO Association

MEGURO UNESCO CONCERT 2018

Special Trio

Nobuya Sugawa
×
Ai Okumura
×
Minako Koyanagi

SUNDAY MAY 27

Meguro Persimmon Hall

ごあいさつ

本日は、目黒ユネスココンサート2018にご来場ありがとうございます。
1975年のバングラデシュ支援をきっかけに誕生したチャリティコンサートが、
今ではこのように大きな会場で毎年開催できるまでになりました。皆様のご
支援に心より感謝申し上げます。

今回の出演は、サクソフォンの須川展也、ヴァイオリン奥村愛、ピアノに
小柳美奈子、というトッププレイヤー3名からなるスペシャルトリオです。
美しい二重奏から華やかな三重奏へと、楽器が増えることによって音の世界
も広がり、深みを増していきます。日曜の午後のひと時、息の合ったアンサ
ンプルを、どうぞお楽しみください。

※このコンサートの収益は世界寺子屋運動・東日本大震災復興支援などの
支援活動に充てさせていただきます。

NPO法人 目黒ユネスコ協会



「目黒ユネスココンサート 2018」によせて

目黒ユネスコ協会が60年余にわたり、平和と文化等の振興のため、様々
な分野において、目黒区とともに歩んでいただきましたことを、厚く御礼
申し上げます。

目黒ユネスコ協会は、日本の達磨の絵付け体験などの国際交流ひろば、
震災支援として目黒ユネスココンサートの開催、国際文化交流講座などに
より、目黒区民の文化、芸術、国際交流活動等に大きくご尽力いただい
ているところでございます。

今年の「目黒ユネスココンサート2018」は、クラシカル・サクソフォン
奏者として日本が世界に誇る須川展也様、美しくパワフルな演奏で大人気
のヴァイオリニストの奥村愛様、伴奏のイメージを変えてしまうアンサンブ
ル・ピアニストの小柳美奈子様による、“美しさと強烈さ”が共存したとび
きりの須川ワールドを企画いただきました。スペシャル・トリオが奏でる名
曲から映画音楽、ラテン音楽までたっぷり拝聴できるとのことで大変楽し
みにしております。

須川ワールドを通じて、音楽の素晴らしさを多くの方に届けていただける
ことに感謝申し上げるとともに、目黒ユネスコ協会の活動が、今後もま
す発展していきますことを心より願っております。

目黒区教育委員会 教育長 尾崎 富雄

Program

—— 第1部 ——

エルガー：愛のあいさつ
Edward Elgar : *Salut d'amour*

ヘス／加藤昌則：ラヴェンダーの咲く庭で
Nigel Hess : *Ladies in Lavender*

ラヴェル：ツイガース
Maurice Ravel : *Tzigane*

モリコーネ：ニューシネマパラダイス
Ennio Morricone : *Nuovo Cinema Paradiso*

加藤昌則：オリエンタル
Masanori Kato : *Oriental*

—— 第2部 ——

デザンクロ：プレリユード、カデンツァとフィナーレ
Alfred Desenclos : *Prélude, Cadence et Finale*

ビゼー／ボルヌ：カルメン・ファンタジー
Georges Bizet / François Borne : *Carmen Fantasy*

アントニオ・カルロス・ジョビン：イパネマの娘
Antonio Carlos Jobim : *The Girl from Ipanema*

ラファエル・エルナンデス：エル・クンバンチェロ
Rafael Hernández : *El Cumbanchero*

フップフェルド & ガレスピー／挟間美帆：As time goes along...?
H. Hupfeld & D. Gillespie : *As time goes along...*

出演者メッセージ

この度は演奏の機会を下さり、本当にありがとうございます！世界の平和
のために教育、科学、文化で貢献できることは、我々音楽家にとってはたと
え微々たるものでも、幸せなことです。みなさんの志に添えるようがんばります。
今回のプログラムはいろんなジャンルに登場して人気の楽器であるサクソフォ
ンが、歌うような表現力で音楽の楽しみをお伝えします。シンプルなメロディ
ーを歌いあげ、シリアスな曲でも華やかな技巧をお見せします。少しでもサク
ソフォンを通して音楽をさらに好きになって頂ければ、との願いで一杯です。
そして今回は大変珍しい内容で、楽器の王ヴァイオリンとも共演できるのです。
素晴らしい歴史を感じるヴァイオリンとピアノの音と、現代の生んだサックスの
音の融合！音楽の世界でも歴史を超えた新たな音が生み出されます。皆さん
に早く早くこの音を聴いて頂きたいです。

須川 展也

この度はめぐろパーシモンホールで演奏する機会を与えて頂いた事、大変
嬉しく思っております。須川さんと出会う前は「サクソフォン＝吹奏楽、ジャズ」
というイメージがあり、自分にはあまり縁のない楽器だと思っていました。ヴァ
イオリンとサクソフォンとは楽器の作りも歴史も全く違うし、音量の差もあるの
で、ある程度の工夫は必要ですが、意外にも(!?)合うのには驚きました。
最初に出会ったサクソフォン奏者が須川さんだったという自分の環境には感謝
しかありません。須川さんが自由自在に操る音色に憧れて真似するも足元にも
及びませんが、間近で聴けるだけでいつも幸せを感じています。美奈子さんの、
優しくていつも温かく寄り添ってくれる音色も大好きです。お人柄もそのまま
です。音楽に対して妥協がなく、いつも真摯に向き合って、でも笑顔が絶え
なく周りを明るくしてくれます。私たちは楽器を使って色んな方と音楽を通じ
てコミュニケーションしています。でも私はその根源にある人と人とのつなが
りが好きです。人として憧れて尊敬しているお二人だからこそ一緒に演奏す
る事が楽しいと思えるのだと思います。かなり強い力でダジャレの世界に引ッ
張られている気がしますが…行きたいような行きたくないような。(笑)

奥村 愛

この度は、素晴らしい機会をいただきまして、ありがとうございます。最近、
様々な場面で、思いがけないご縁があったことに気がついて驚くことが、多く
あります。全てが人と人との繋がりから生まれている、と感じます。この三人
での演奏は回数を重ね、2015年にはCD録音もしました。愛ちゃんとの出逢
いから、10年。愛ちゃんはいつも自然体で、周りにそっと気遣う優しさと、
しなやかな強さを持つ、芯の通ったとても素敵な女性です。そしてそれは、
彼女の音楽にも溢れています。須川は、30年ステージで、そしてプライベート
で苦楽を共にしてきたパートナー。彼のサクソフォンへの情熱はますます強く、
それにかける姿には、身内ながら頭が下がる思いです。歳を重ねると共に増
えているのは、須川と私のダジャレ(笑)。若い愛ちゃんは、それを笑って許
してくれているのですが、私はいつかこちら側に来ってくれる…と期待しています。
今日は、こんな三人の繋がりも感じていただけましたら嬉しいです。

小柳 美奈子